



食べて応援！ 学校給食に 沖縄県産 黒毛和牛肉を！



給食の様子

新型コロナウイルス感染症は、我が国のインバウンドや外食需要の減少を招いており、農林水産物の消費にも大きな影響を及ぼしています。沖縄県は、肉用子牛（黒毛和牛）の出荷頭数が全国4位で、石垣牛などのブランド牛を有する我が国有数の畜産県ですが、県産和牛肉の消費減少による販売量の低下や牛肉価格の低迷などの影響が見られます。

このため、農林水産省では、こうした状況に対応した販売促進対策として、「和牛肉等販売促進緊急対策事業」を実施し、学校給食に和牛肉などを提供する取組を推進しています。沖縄県と（公財）沖縄県畜産振興公社では、この事業を活用し、県内

423校の小中学校などの学校給食（約17万人分）で県産和牛肉（約25トン）（9月末計画時点）を提供する取組を9月から開始しました。

9月29日（「肉の日」..毎月29日）には、那覇市やうるま市、南城市など一部の小、中学校の給食に県産和牛肉が提供されました。南城市立知念中学校では、「県産和牛丼」として提供され、生徒からは「和牛は、普段、給食に出ないので美味しかった」などの感想が聞かれました。

また、同中学校では、給食時間中に、食育の一環として、JAおきなわ南部地区畜産振興センターの大城一也センター長から、県産和牛の生産状況やコロナ禍でも生産者が協力し



県産和牛肉について説明する
JAおきなわ大城センター長

あい、この局面を乗り切ろうと努力していることなどの講話も行われました。

このほかにも、この事業を活用した和牛肉の販売促進の取組として、（公財）沖縄県畜産振興公社と（一社）沖縄県ホテル協会が連携し、県内ホテルでの和牛肉メニューの提供を推進していく予定です。

お問い合わせ先

農林水産部 生産振興課畜産振興室
☎098-866-11653

